

地域の、地域による、旅行者の為の、音声AR P/F事業 (観光音声メタバースコンソーシアム)

実施地域

岩手県八幡平市、埼玉県秩父市、愛媛県今治市、静岡県藤枝市

事業概要

これまで多くの地域で、造成したコンテンツが、資金的、人的、情報的な観点から持続が低く、継続的な取組につなげられていないという課題があった。

本事業では、ソニーが開発した音声AR*アプリ「Locatone™（ロケトーン）」を活用し、4地域の特徴を生かした音声ガイドコンテンツを制作・提供する取組を4地域で行った。また、音声ガイドコンテンツは、コンテンツ制作ツール「Locatone Studio」を用いてUGC化し、地域事業者や学生等誰でも簡単にコンテンツ制作・編集ができるような仕組みを構築した。

さらに、当該アプリの利用状況等からデータを分析することで、地域経済の循環及び外貨獲得の仕組みを構築し、地域活性化に寄与することを目指した。

※音声AR：アプリで取得した“位置情報”と音楽をはじめとする“音声情報”とを組み合わせた拡張現実（AR）によって、音を聴きながら街をめぐること、街の新しい魅力や楽しみ方を演出するソリューション。

事業目標と成果

KPI	目標	実績
SNSでの拡散割合・既存誘客SNSフォロー	増加・拡大	54
音声ガイドクリエイターの育成	20名以上	11名
音声ARコンテンツタッチポイントの造成	各10か所	八幡平市：18か所、秩父市：16か所、藤枝市：14か所、今治市：16か所
地域キーマンの掘り起こし	各地域5名以上	八幡平市：8名、秩父市：8名、藤枝市：5名、今治市：5名
ECおよびふるさと納税サイトの構築	各地域1つ以上	2地域で構築予定

事業の成果

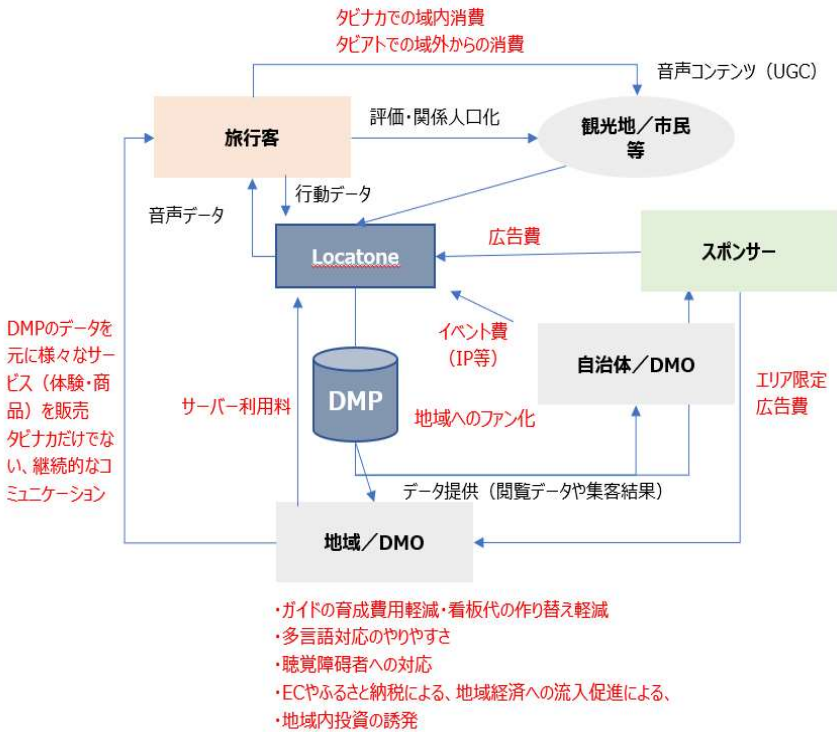
➤ 課題が異なる各実証地域でのコンテンツ造成によるノウハウ獲得

各地域が抱える回遊性や滞在時間などの課題からそれぞれに適したターゲット選定・コンセプト設計を行った上で実証した。効果検証、分析を行い、地域によっては短時間で完結するコンテンツが効果的であることなど各地域に対して適したコンテンツ造成のノウハウの獲得に繋がった。地域独自のガイドコンテンツ造成について対象地域および別地域でも展開を予定しており、UGCプラットフォームとなる基盤と併せて今回の事例を活用していく。

実施体制

観光等事業者：（株）八幡平DMO、（一社）秩父地域おもてなし観光公社、（一社）しまなみジャパン、（株）フェザンレーヴ、ソニー（株）【技術協力】、（株）サービスマーケティング、大正大学地域構想研究所、（株）ANA総合研究所

実証内容(概要図)



今後目指す姿

全国における音声ARの自走化を実現し、ユーザー増加による収益の拡大を目指す

➤ 全国の様々な地域で大学・事業者等との連携体制を構築して、音声ARのUGC化を目指す。

本実証4地域だけではなく、他の地域での音声ARのUGC化を図るため、他地域や大学・事業者等との連携体制を構築することを目指す。

➤ 域外獲得消費額、2025年に1億円達成

本実証内で八幡平・今治では会員制度を構築した。この会員制度を活用し、会員数増加に繋げるにより、域外からの獲得消費額向上を図る。また、会員数増加と経済効果向上の為、地域商社や観光DMOとの連携体制を構築し、2025年に域外消費額1億円を達成することを目指す。